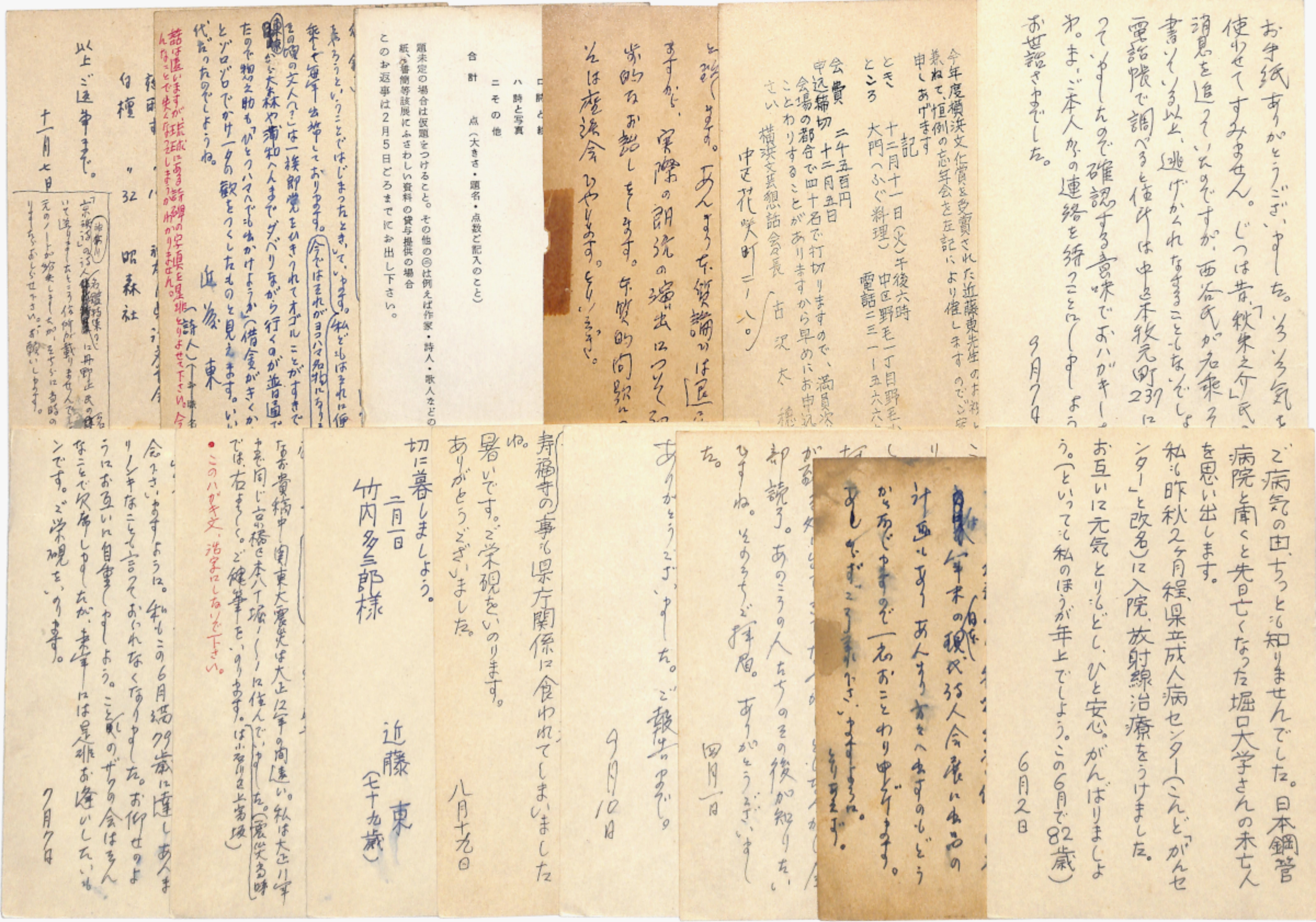

お手紙ありがとうございました。いろいろ気を
使わせてすみません。じつは昔、「秋朱之介」氏の
消息を追っていたのですが、西谷氏が名乗る
書いている以上、逃げかくれなすることもないでしょ
電話帳で調べると住所は中区本牧元町237に
ってましたので確認する意味でおハがきし
わ。ま、ご本人からの連絡を待つことにしましょう
お世話さまでした。

9月7日

今年度横浜文化賞を受賞された近藤東先生のお祝
兼ねて、恒例の忘年会を左記により催します　ので、ご案
申しあげます

記

とき　十二月十一日（火）午後六時
ところ　大門（ふぐ料理）　中区野毛一丁目野毛
電話二三一一五六六

会費　二千五百円
申込締切　十二月五日
会場の都合で四十名で打切りますので、満員次
ことわりすることがありますから早めにお申込
さい。

横浜文芸懇話会々長　古沢太穂

中区花咲町二ー一八。

と話します。あんまり左翼論理は退
ますから、実際の朗読の演出について
常的なお話しをします。左翼的同調
それは座談会でやります。よろしく。

ロ　詩と絵
ハ　詩と写真
ニ　その他

合計　点（大きさ・題名・点数ご記入のこと）

題未定の場合は仮題をつけること。その他の㊁は例えば作家・詩人・歌人などの
紙、短冊等該展にふさわしい資料の貸与提供の場合
このお返事は2月5日ごろまでにお出し下さい。

まろうということではじまったときいています。私どもはそれは便
来て毎年出席しております。今ではそれがヨコハマ名物になり
その頃の文人（？）は一族郎党をひきつれてオゴルことがすきで
東京から大森や蒲田へんまでダベリながら行くのが普通で
たので物之助も「ひとつハマへでも出かけようか」（借金がきくか
とゾロゾロでかけ一夕の歓をつくしたものと見えます。いい
代だったのでしょうね。

近藤　東
（詩人）（本名

話は違いますが、鎌倉にある詩碑の写真を是非とりよせて下さい。今
んなことで失くなってしまうか判かりません。

白樺　〃　32　昭森社

以上ご返事まで。

十一月七日

「宗族語」の詩人（名鑑詩集で）には丹野正氏の
いて読りましたところ住所が載りませんで
元のノートが紛失しましたが、そちらには当時の
りましたらおしらせ下さい。お願いします。

ご病気の由、ちっとも知りませんでした。日本鋼管
病院と聞くと先日亡くなった堀口大学さんの未亡人
を思い出します。
私も昨秋2ヶ月程県立成人病センター（こんど「がんセ
ンター」と改名）に入院、放射線治療をうけました。
お互いに元気をとりもどし、ひと安心。がんばりましょ
う。（といっても私のほうが年上でしょう。この6月で82歳）

6月2日

年末の現代詩人会展に出品の
計画もあり、あんまり方々へ出すのもどう
かと存じますので一応おことわり申しあげます。
あしからずご了承下さい。まずは
とりあえず。

部読了。あのころの人たちのその後が知りたい
ひますね。そのうちご拝眉。ありがとうございまし
た。

四月一日

ありがとうございました。ご報告まで。

9月10日

寿福寺の事も県庁関係に食われてしまいました
ね。
暑いです。ご栄硯をいのります。
ありがとうございました。

八月十九日

切に暮しましょう。

二月一日

竹内多三郎様

近藤　東
（七十九歳）

なお貴稿中、関東大震災は大正12年の間違い。私は大正11年
東京で同じ京橋区本八丁堀ノ1に住んでいました。（震災当時
では、右よろしく。ご健筆をいのります。は小石川区上富坂）

● このハガキ文、活字にしないで下さい。

念下さいますようは。私もこの6月満79歳に達しあんま
りシャキなことで言っておられなくなりました。お仰せのよ
うにお互いに自重しましょう。ことしのザクの会はそん
なことで欠席しましたが、来年には是非お逢いしたいも
ンです。ご栄硯をいのります。

7月7日